

## 2020年度経済学部卒業時アンケート

調査対象：564名（2020年度9月卒業生34名、2020年度3月卒業生530名）

調査実施期間：2020年9月1日～9月15日、2021年3月3日～3月31日

回答者数：382名（2020年度9月15名、2020年度3月367名）

回答率：67.7%

## 2020年度3月経済学部卒業時アンケート結果概要

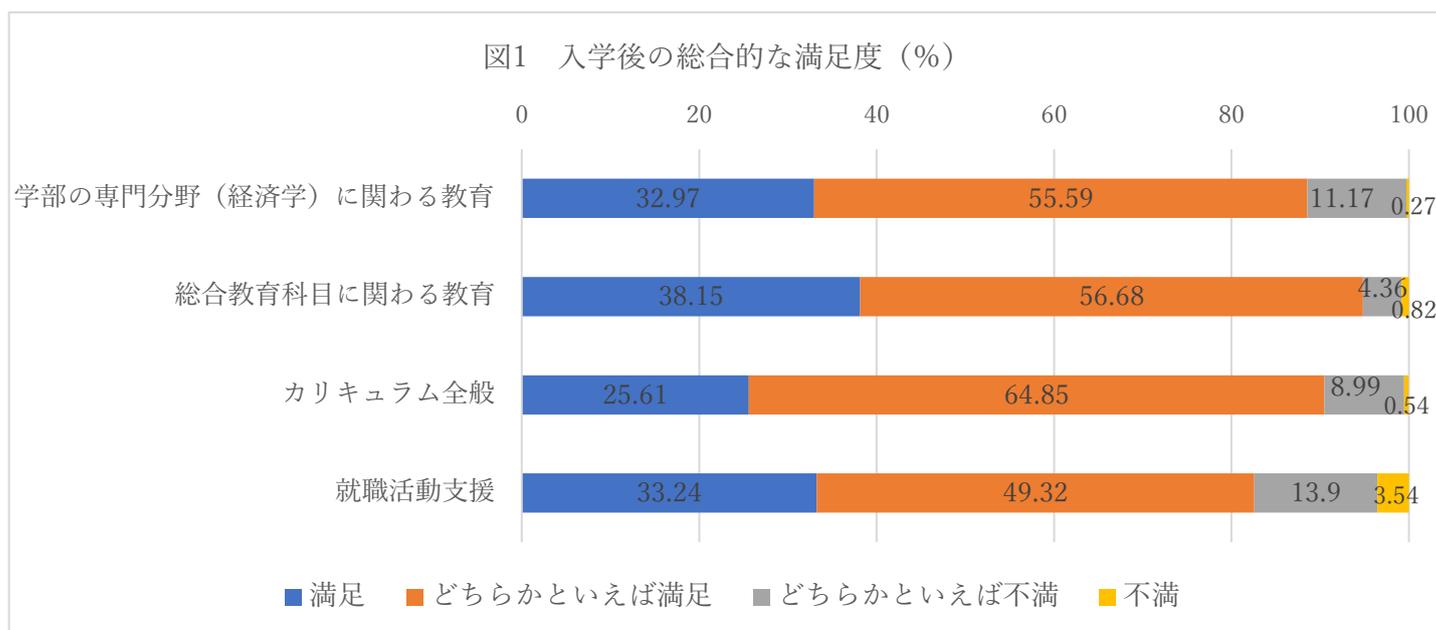
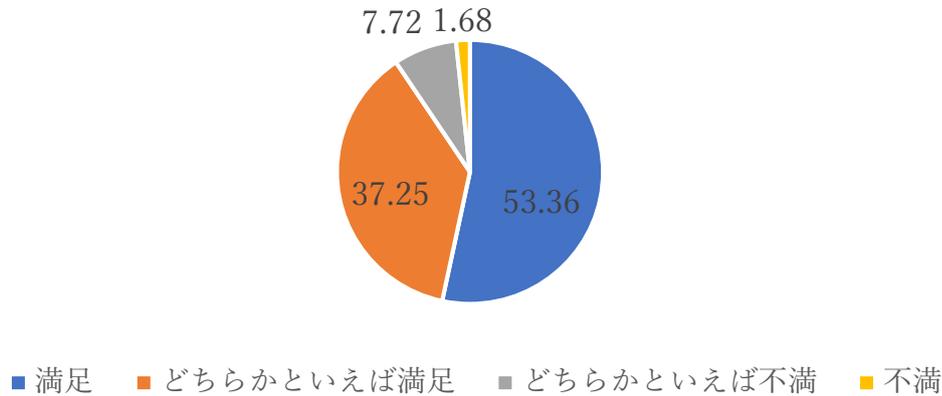


図1から入学後の総合的な満足度を見ると、「学部の専門分野（経済学）に関する教育」では88.56%が「満足した」（「満足」+「どちらかといえば満足」）と回答している。同様に、「総合教育科目に関する教育」では94.83%、「カリキュラム全般」では90.46%、「就職活動支援」では82.56%が「満足した」と回答しており、経済学部卒業生の入学後の総合的満足度は非常に高いといえる。ただし、「就職活動支援」の満足度がやや低いことから、次回の卒業生アンケートでは満足していない要因について別途質問項目を用意し、不満を持つ背景について考察していきたい。

図2はゼミの履修者に限定したゼミ満足度である。ここでも90.61%が「満足した」と回答しており、教学に関する経済学部卒業生の満足度は非常に高いことが分かる。

図2 ゼミ満足度 (%) ゼミ履修者に限定 n=298

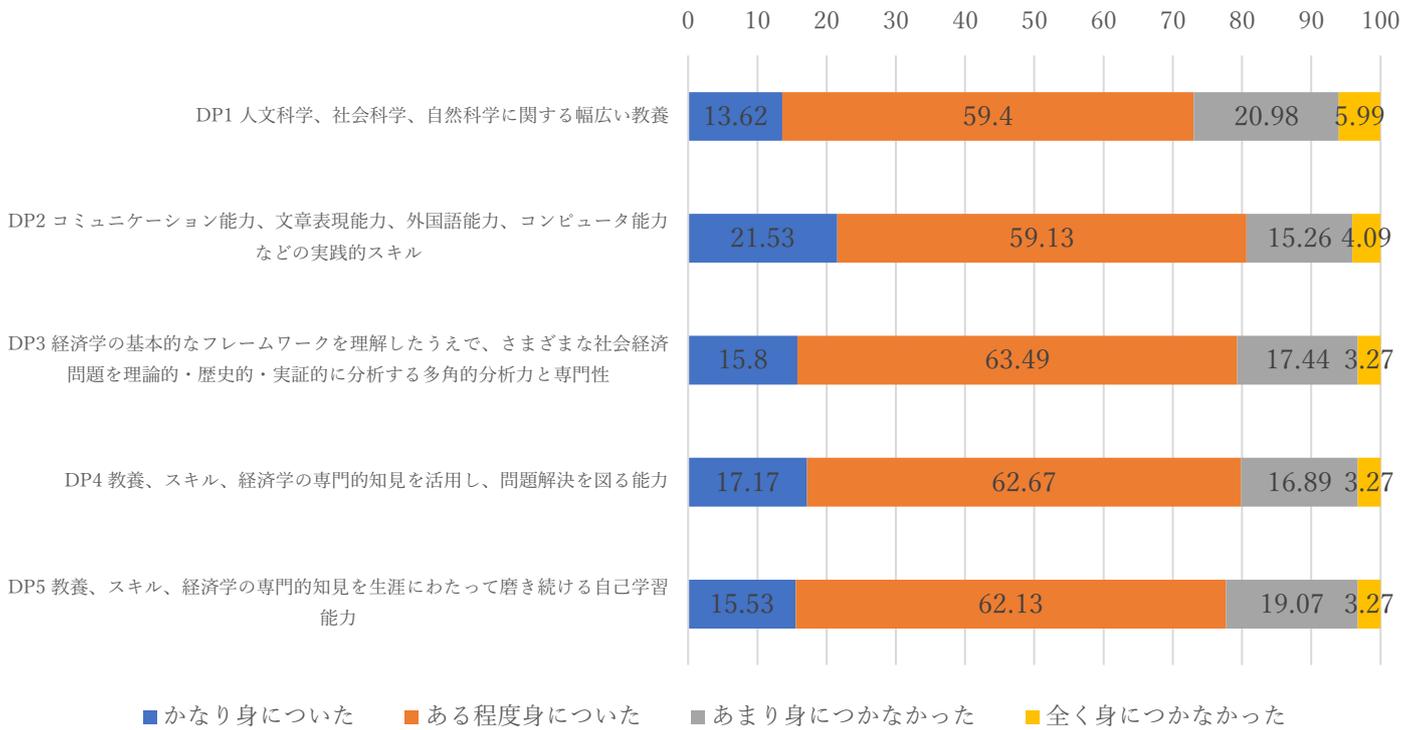


経済学部では、DP1 から DP5 までの 5 つのディプロマポリシーを掲げている。このディプロマポリシーを卒業生はどの程度修得したと認識しているのかを確認すると (図 3)、DP1「人文科学、社会科学、自然科学に関する幅広い教養」は 73.02%の卒業生が「身についた」(「かなり身についた」+「ある程度身についた」)と回答している。同様に、DP2「コミュニケーション能力、文章表現能力、外国語能力、コンピュータ能力などの実践的スキル」は 80.66%、DP3「経済学の基本的なフレームワークを理解したうえで、さまざまな社会経済問題を理論的・歴史的・実証的に分析する多角的分析力と専門性」は 79.29%、DP4「教養、スキル、経済学の専門的知見を活用し、問題解決を図る能力」は 79.84%、DP5「教養、スキル、経済学の専門的知見を生涯にわたって磨き続ける自己学習能力」は 77.66%の卒業生が「身についた」と回答しており、概ね 8 割前後の高い値を示している。

ただし、DP1「人文科学、社会科学、自然科学に関する幅広い教養」が「身についた」と回答している割合がやや低いため、設問の文章が DP1 の内容を示す的確なものとなっているのか検討を行いたい。

卒業生アンケートから、経済学部卒業生の満足度やディプロマポリシーの修得度合いは高いことが確認されたが、さらなる満足度の向上や DP 修得度を高める取り組みについて検討していきたい。

図3 大学での学習を通じ、以下の能力やスキルを修得できたと思うか (%)



## 2020 年度 9 月経済学部卒業時アンケート結果概要

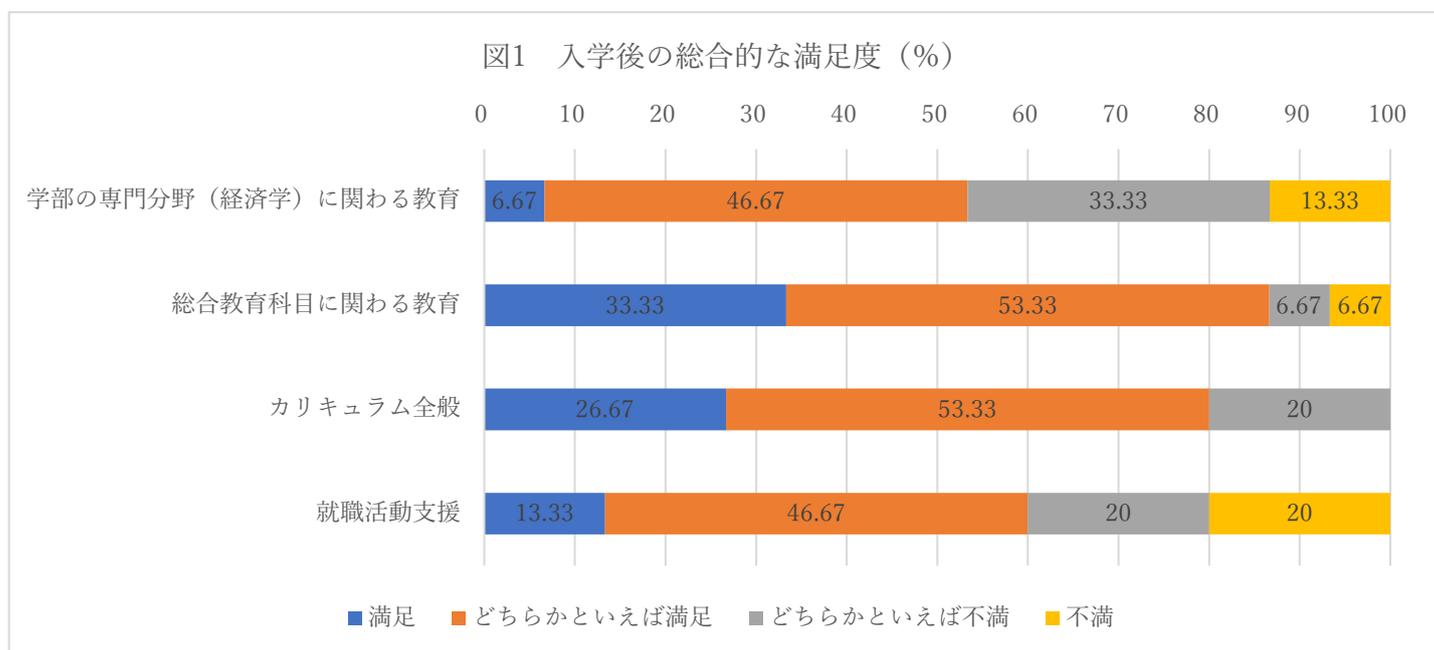
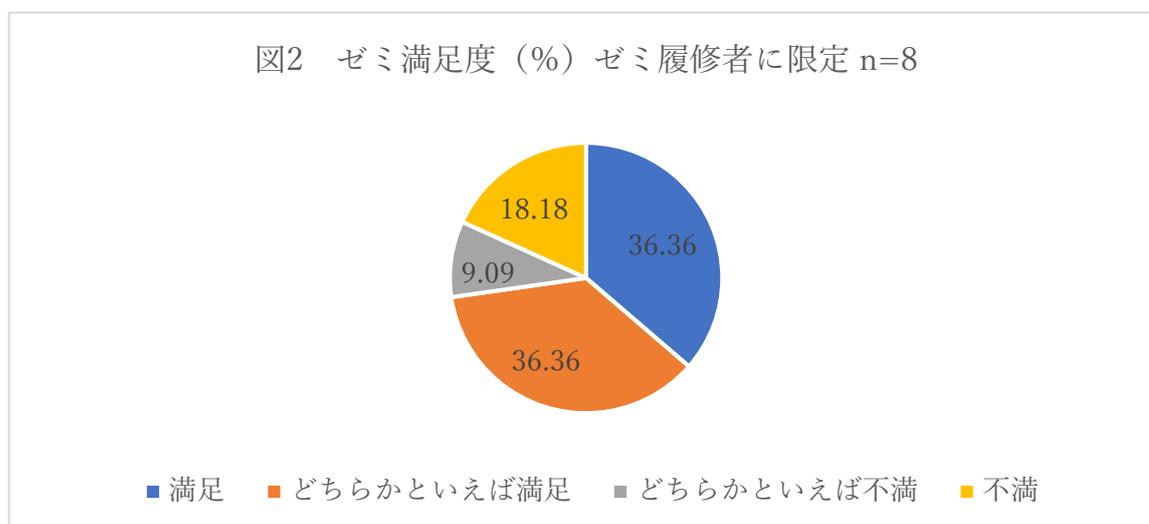


図1から入学後の総合的な満足度を見ると、「学部の専門分野（経済学）に関わる教育」では53.34%が「満足した」（「満足」＋「どちらかといえば満足」）と回答している。同様に、「総合教育科目に関わる教育」では86.66%、「カリキュラム全般」では80%、「就職活動支援」では60%が「満足した」と回答している。学部の専門分野に関わる教育と就職活動支援に関しては満足度がやや低い結果となったが、これは9月卒業生の回答数が15名と少ないことに起因している可能性があり、今後のアンケート結果を注視したい。

図2はゼミの履修者に限定したゼミ満足度である。ここでは72.72%が「満足した」と回答しており、ゼミ満足度は概ね高いといえる。



経済学部では、DP1 から DP5 までの 5 つのディプロマポリシーを掲げている。このディプロマポリシーを卒業生はどの程度修得したと認識しているのかを確認すると（図 3）、DP1「人文科学、社会科学、自然科学に関する幅広い教養」は 73.33%の卒業生が「身についた」（「かなり身についた」+「ある程度身についた」）と回答している。同様に、DP2「コミュニケーション能力、文章表現能力、外国語能力、コンピュータ能力などの実践的スキル」は 80%、DP3「経済学の基本的なフレームワークを理解したうえで、さまざまな社会経済問題を理論的・歴史的・実証的に分析する多角的分析力と専門性」は 60%、DP4「教養、スキル、経済学の専門的知見を活用し、問題解決を図る能力」は 73.33%、DP5「教養、スキル、経済学の専門的知見を生涯にわたって磨き続ける自己学習能力」は 80%の卒業生が「身についた」と回答している。

サンプル数が少ないため確かなことは言えないが、DP3「経済学の基本的なフレームワークを理解したうえで、さまざまな社会経済問題を理論的・歴史的・実証的に分析する多角的分析力と専門性」について「身についた」と回答している割合がやや低い背景には、9月卒業生の多くは非自発的な留年生であると考えられるため、その影響を反映している可能性がある。

9月卒業生アンケートは回答数が少ないため、今後の9月卒業生アンケートの結果と照らし合わせながら、満足度の向上やDP修得度を高める取り組みについて検討していきたい。

図3 大学での学修を通じ、以下の能力やスキルを修得できたと思うか（%）

